

関西学院大学大学院理工学研究科

2026 年度入学試験

(二次：2026 年 2 月 26 日実施)

# 専門科目

## 建築学専攻

設計系(即日設計)

(13:10-16:10 180 分)

### 【試験にあたっての注意】

1. 筆記用具（直定規、三角定規〔勾配定規を含む〕、三角スケール、鉛筆、シャープペンシル、芯ホルダー、字消し板、消しゴム、練りゴム、ペン、色鉛筆、ドラフティングテープ、鉛筆削り〔芯研器を含む〕、ティッシュペーパー、および貸与する平行定規）と電子式卓上計算機（プログラム機能のないもの）以外はカバンに入れ、カバンは床の上に置くこと。
2. 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、音楽プレーヤー等の音の出る機器の電源を切ること。なお、アラームを設定している人は解除してから電源を切り、カバンにしまうこと。
3. 時計のアラームは解除すること。携帯電話を時計として使用することは認めない。
4. 試験の途中退場は認めない。ただし、やむを得ない場合は挙手し監督者に知らせること。
5. 不審な言動は慎むこと。不正行為が発覚した場合、全科目を0点とする。
6. 試験用紙は以下の構成となっている。
  - ① 問題冊子1冊
  - ② 解答用紙（ケント紙）
7. 指示があるまで問題冊子を開かないこと。
8. 各問題は、所定の解答用紙（ケント紙）に解答すること。
9. 問題冊子に書かれた注意に従うこと。
10. 解答用紙（ケント紙）には、氏名は記入せず、受験番号のみを記入すること。
11. 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ること。

以上

# 2026 大学院入試 即日設計課題

## ■課題「飲食店舗を併設するゲストハウス」

2～3階建ての建物が建ち並ぶ小スケールの伝統的な街並みの一画に、図のような東西15m×南北10mの敷地がある。東側には小川が流れる、風光明媚な場所である。ここに飲食店舗を併せ持つゲストハウスを設計せよ。街の賑わいを創出しつつ、訪れるゲストに非日常感を演出する施設とすること。内外部空間の関係や敷地外の環境を考慮し、河川敷も一体的に利用できる施設をデザインすること。

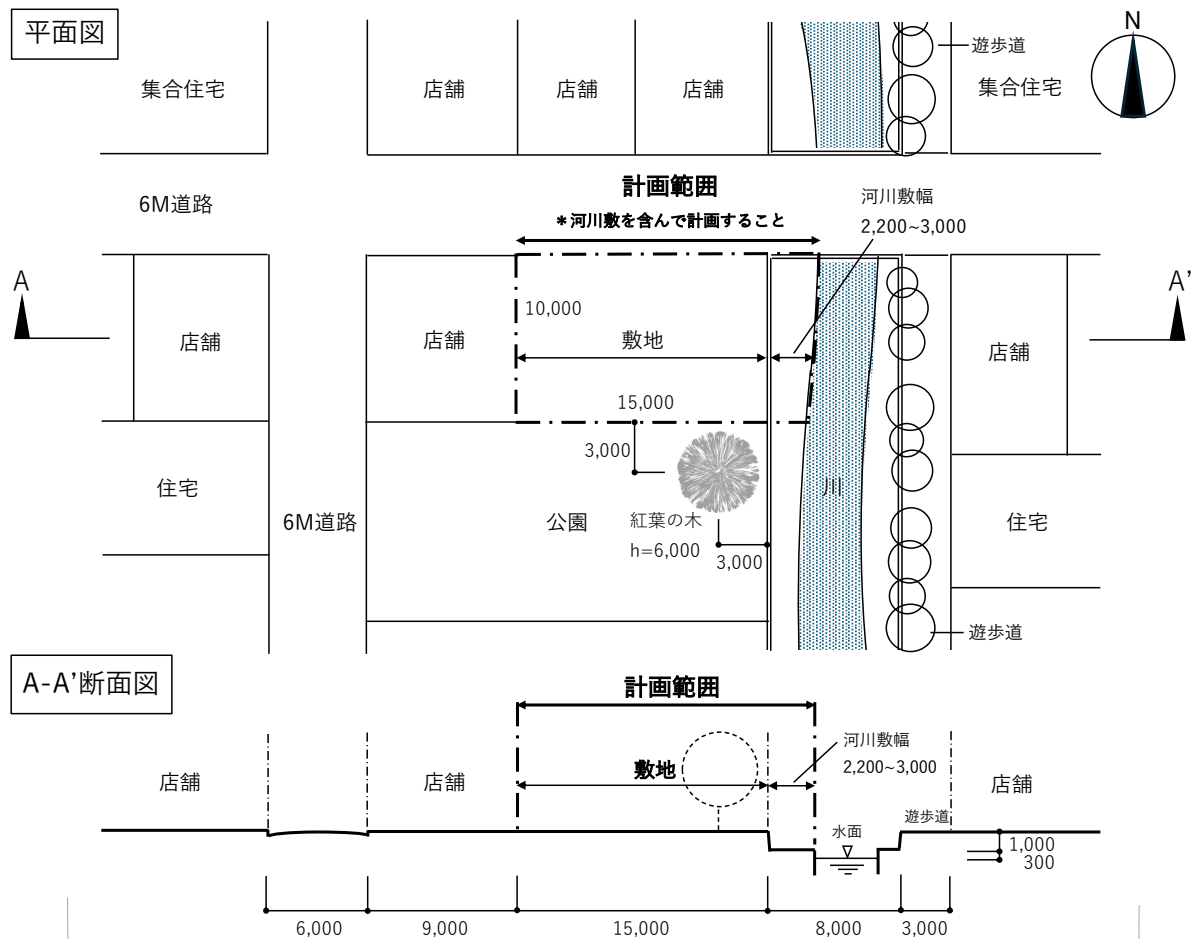
## ■設計条件

- ・施設は、敷地内で自由な位置に設定できるものとする。
- ・構造形式は自由、規模は延べ面積180㎡程度、階数は3階以下。
- ・レストランバーと1組の宿泊者用のゲストハウスを設ける。1棟、分棟いずれも可。
- ・東側河川敷も含め一体的な利用を図ること。南側の公園とは自由に往来可能とする。
- ・建築関連法令への配慮は不要とする。

## ■所要図面

- ・各階平面図（1階平面図は配置図（外構デザインを表現すること）を兼ねる）1:100
- ・断面図（1面以上、河川を含むこと）1:100
- ・設計意図を十分に表現できるスケッチパース（内外観各1面以上）
- ・設計趣旨 200字程度

以上をA2ケント紙（横使い）1枚にまとめる。図面には主要寸法を記入すること。



### 出題の意図

伝統的街並みの一角に、レストランバーを併せ持つゲストハウスを提案する課題である。2辺をそれぞれ公園と川に接する特徴的な敷地において、地域文化の継承・振興と、訪れる人たちの非日常体験の創出にどのように貢献できるのかを、内外部空間の連続性と敷地外部との関わりを考慮してわかりやすく描写し、的確に文章で要約することを期待する。

### 解答例

設計課題の特性上、解答例は提供していません。